

## 第一号会報誌

# 中央着付士能力開発協同組合

2023年6月より理事長を務めさせていただいています。

「はじめまして」の方も多いと思いますが、会員の皆様方の活躍できる機会を少しでも増やそうと、不慣れながら、新しい取組みにも挑戦し、気がつけば、2期目が過ぎようとしています。

今期より、会員の皆様方への一層の情報提供と、新たな会員増強に向け、会報誌を発行することいたしました。

まずは、中央着付士能力開発協同組合がどんな活動をしているのか、この1年間の活動内容をそれぞれの理事より報告をさせていただきます。

私たち中央着付士能力開発協同組合は、毎月1回理事会を開き、着付士着付教室、着付学校などで着付の勉強をされた方に、国家資格である「着付け」技能検定(全日本きもの技能センター実施)の受験を推奨する活動、国家試験に向けての短期講習会、の実施、全日本技能士会連合会・東京都技能士会開催の匠の会への参加、東京都中小企業団体中央会・神奈川県中小企業団体中央会の組合祭への参加、各地での協同組合主催の着付教室の開催、依頼を受けての小・中学校における着付教室の開催、登録着付士への仕事相談業務及び着付の依頼、その他「着物でお出かけ推奨企画」の推進

など、多彩な活動を行っています。

今後も、これらの活動について、皆様方にできるだけタイムリーにご案内したいと思っておりますので、ぜひ昨年にも増して積極的にご参加いただき、新しい会員もお誘いいただきますよう、お願い申し上げます。

理事長 田中 元子

佐藤 和子

中央着付士能力開発協同組合  
神奈川県支部  
担当者 佐藤和子・川村奈保子

タイトル 職業講話 実演体験  
主催者 神奈川県技能士連合会  
日時 令和6年11月29日(金)9時~12時  
場所 横浜市立六浦中学校 横浜市金沢区六浦1-24-4  
対象者 中学1年生 20名×2回講習 計40名  
参加団体 4団体 豊・タイル・フラワー・着付け  
講習内容 \*着物を見せながら用途説明(6種類)  
\*代表者(モデル)を決めて浴衣着付け講習  
感想 \*他の生徒には帯結びを指導体験  
\*浴衣のたたみ方を指導体験  
1時間(入替制)での講習体験でしたが生徒さんが懸命にメモをとったり、しっかりと講習を受講してくれました



中央着付士能力開発協同組合  
技能士の会 東京支部

タイトル ものづくり・匠の技祭典2024  
日時 令和6年8月1日~4日 (1日リハーサル日)  
開催場所 東京国際フォーラム(有楽町)  
Webサイト ものづくり匠 www.monozukuri-takumi-expo.tokyo

※ 世界に誇る日本のさまざまな「匠の技」を見て、聞いて、体験できる  
東京都技能士連合会のイベントに参加

※ ブース 浴衣体験と浴衣講習と物品販売  
※ 舞台 振袖着付け・着付け舞・タレント(鈴木ゆうか)さんの帯結び披露  
※ スタッフ 延べ人数 (71名)  
※ 来客数 浴衣体験(100名) 浴衣講習(33名)

予定 ものづくり・匠の技祭典2025  
※日時 令和7年7月25日~27日  
※場所 産業貿易センター 浜松町館(浜松町駅)

## 国家試験

今年も3月からの受付が始まり、中央着付士能力開発組合からは、関東・中部・関西・北海道と多くのの方が着付士国家資格を目指して受験されました。

6月、7月と筆記試験があり、一級・二級を目指して学習には下まれその結果をふまえて、実技試験が9月から12月にかけて、日本全国で開催されました。その成果は二級は約70%の合格率、一級は50%程度ときびしいものです。

中央着付士能力開発組合では短期講習会を実施して皆様の技術向上試験におけるマナーと手順などを講習しています。

今後もこの取り組みを一層強化し、国家試験受験者の強化に努めてまいります。ご協力よろしくお願い致します。



## 新潟十日町活動報告

中林 則子

十日町における着付け技能士の活動報告を申し上げます。十日町では年間を通して市主催の行事に参加しております。まずは2月は「雪まつり」きものショウの着付け5月3日にきものまつりが大々的に催され雪国ですのでこの日に合わせての成人式(現在は成人の集い)の振袖着付け(約20人)8月は「十日町大まつり」の民謡流しこれは織物会社メーカー様 銀行、病院など、それぞれの参加団体から依頼され浴衣の着付けを行います。(約200人)二月3日頃「新潟きもの復興祭」があり振袖のみの着付けです。(約5人)等々その他卒業式、入学式の着付など個人的にも依頼を受け技能士の資格を十分に生かし活躍しております。

## 組合祭り

田村 佐智子

昨年10月30日・31日の2日間、東京国際フォーラムにおいて、東京と全国の中小企業が集合し、中小企業の「技」と「食」を見て・知って・楽しめる「組合祭り」が開催されました。参加を通じ、組合の知名度アップや販路開拓を支援する企画内容です。オンライン展示会企画もありましたが、私達の組合は、会場での展示会に2日間参加しました。「技」での参加でしたが「匠の会」のような集客はなく、どちらかといえば異業種交流会がメインです。会場参加の組合や来場者との名刺交換を活発に行い、自分たちの組合をアピールし、知名度をアップするためのイベントでした。私は、2回目の参加でしたが、名刺を1日目で切らしてしまい、2日目からは清水先生の名刺しかなく、とても残念でした。次年度からはさらに組合の知名度アップや販路開拓につながる企画を計画し当組合の発展につなげたいと強く思った次第です。

# ～着付け教室～

石井 和子

着付け教室『新小袖』は、以前は『小袖会』と言う名前の教室でした。社長が亡くなり、着付け教室自体も無くなり、各教室は各々の教師に任せられ、私共の教室は、小袖会の小袖を残し、新しく始まる教室名を、『新小袖』と命名し、着付け教室を始めました。そのやさき、東海道大地震が有り、やっと教室が波に乗り落ち付いて練習が出来た様になり、他装も練習に取り入れ、これから又、練習に励もうと思っていた矢先にコロナが大流行し、生徒さん達も九名そこそこのになりましたが、和気あいあいと、自装、他装共に練習に励んでいます。先日も着付けに興味の有る方が、練習風景を見学されて行ったり、正月に娘さん達に、振袖を着せてあげたりしています。



# ～組合からの仕事依頼～

綿貫 美恵

当組合では会員の皆様の着付士としての技術を活かし、活躍の場を広げていただくために仕事のご案内をしております。

- ・振袖や卒業袴レンタルのコーディネートなどのアドバイス
  - ・写真スタジオに於いて振袖、訪問着、卒業袴の着付け
  - ・観光の方向けのレンタル着物のコーディネート及び着付け
- 等、多数あります。きもの着付けは日本の文化です。この文化事業がより発展する様、心から祈り今後もこの活動に邁進してゆく所存です。

# ～一年間の理事会報告～

清水 和子

「着付け」は、着物文化を支える重要な技能です。しかし、長い間、それを「技能」として認識する人は多くありませんでした。そんな中、有志の先人達は、知恵と知能を絞って働きかけ、行政を動かしました。平成21年10月25日付けで、「着付け」が「職業能力開発促進法の施行令（第204号）」の「技能検定」に追加された事が官報に掲載されています。

私は、公に、法律で示された「技能」としての「着付け」業務に関わる人として、これからも、着物文化や「着付け」に関わる知識技能を高めたいと考えています。そして、先人達が築いてきた、「技能検定（国家検定）」に相応しい、「着付け」の技能とその価値を更に高めるように日々研鑽していききたいと思えます。



匠の会でのショーをQRコードから是非ご覧ください



# ～北海道支部活動報告～

鈴木 桂子

中央着付士能力開発協同組合(以後組合)とは、どの様な活動をするのか聞かぬ間に釧路の林学院長は体調をこわし、京都の大澤所長との連絡は取れぬままとなりました。鈴木教室を5年、そして北海道着付養成文化院の学院長として20年が過ぎました。基礎コースを終えた人には着装士コースを勧め、さらに勉強したい人にはプロコースに進んで頂き国家資格に挑戦して頂き現在11名が一級または二級を取得しています。資格者への仕事の道を広げたいと思ひ組合を検索してしましたら、尾崎宏子理事長の動画が目にとまり組合への道が繋がりました。早速、令和5年10月8日、9日と東京 清水和子先生のお教室での理事会へ参加させて頂きました。尾崎理事長の退任と田中元子新理事長にお会いすることが出来ました。その時私はこの機会を一步前へ進めなければ無くなると思ひ、北海道支部長を受けました。それから考えようと尾崎先生より沢山の資料を頂きました。そして以前、東京・神奈川へ指導員の講習を受けました時の資料を読み返しまし



# 次年度 事業予定

# 理事会予定

- 五月 ①2024年度決算報告
- ②2025年度匠の会打合せ
- ③2025年度事業計画
- 六月 匠の会 打合せ
- 反省会
- 七月 匠の会 打合せ
- 反省会
- 組合祭 打合せ
- 開催
- 反省会
- 開催
- 新年会
- 二月 国家検定・ポスター配布

中央着付士能力開発組合へのご参加、特に匠の会への皆様のご参加をお待ちしています。

田中 元子

